



小檜山利輝選手(会津学鳳高1年=男子7区)



古川裕隆選手(会津学鳳高2年=男子4区)



大塚翔流選手(喜多方桐桜高2年=男子7区)

町内を高校生ランナーが力走

県高校駅伝競走大会を町内で開催

第60回県高校駅伝・第33回県高校女子駅伝は10月21日、カメリーナをスタート・ゴールに開かれ、選手たちが秋の猪苗代路を駆け抜けました。この大会には、男子40校、女子21校が出場。男子7区間42.195^{km}、女子5区間21.0975^{km}で争われ、男子は学法石川高、女子は田村高が優勝を飾りました。町内からは、ふくしま駅伝のメンバーにもなった4人の選手が出場し、地元の大きな声援を受けながら力強い走りを見せました。



佐藤美澄選手(会津高1年=女子4区)。会津高校同窓会猪苗代支部の皆さん(後方右)が力走する後輩に声援を送った



【特集】
写真で振り返る

今秋のスポーツ

食欲の秋、読書の秋、芸術の秋など、秋にちなんだ言葉はたくさんありますが、「スポーツ振興宣言の町」の猪苗代にぴったりなのは、「スポーツの秋」。ことしの秋も、町内ではさまざまなスポーツイベントが開かれ、市町村対抗などの大会でも猪苗代勢が大活躍しました。今月号では、その一部を写真で振り返ります。



約2800人が猪苗代を疾走

猪苗代湖ハーフマラソン2015

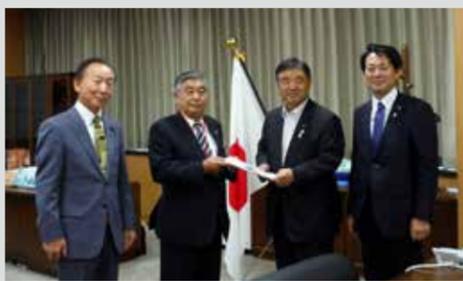
猪苗代湖ハーフマラソン2015は10月25日、カメリーナをスタート、ゴールとするコースで開かれました。レースは、ハーフマラソンを中心とした計18部門が行われ、合わせて2774人のランナーが晩秋の猪苗代路を駆け抜けました。大会には、多くの町民や学生がボランティアとして参加し、円滑な運営に一役買いました。地元産の野菜を使った豚汁なども振る舞われ、ランナーたちから好評を博しました。



東京五輪・パラリンピック 事前キャンプを猪苗代で

町長が五輪担当相とガーナ大使に町内開催を要望・提案

▶遠藤五輪担当相に要望書を手渡す前後町長(左から2人目)と佐藤副議長(左)。右は同席した小泉衆議議員



2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを本町に誘致するため、町ではこのほど、国などに要望活動を行いました。

9月30日には、前後町長と佐藤光幸町議会副議長が上京し、遠藤利明東京オリンピック・パラリンピック担当大臣を訪問。遠藤大臣に町と町議会からの要望書を手渡し、誘致への協力を依頼しました。

11月16日には、前後町長が東京都のガーナ大使館を訪問。シルベスター・J・K・パポ・パーカー・アロテ駐日ガーナ大使と面会し、町内での事前キャンプ開催を提案しました。

アロテ大使は「野口英世博士の縁で交流のある猪苗代町とスポーツを通して関係がさらに深まることは大変素晴らしい。本国政府に働きかけた」と前向きな考えを示されました。



◀アロテ大使と握手を交わす前後町長(右)

1_スタートの様子 2_陸上の柏原竜二選手(中央=富士通)らがゲストとして参加し、大会を盛り上げた 3_ゴールしたランナーにタオルを配るボランティアの皆さん 4_勇壮な太鼓の演奏でランナーを鼓舞する、猪苗代伝統芸能保存会の皆さん 5_ハーフ男子A(19歳~29歳)で3位入賞を果たした影山裕さん 6_町食生活改善推進員の皆さんが約3000食分の豚汁を振る舞い、ランナーたちの体を温めた



▶南会津町チームとの対戦で、サヨナラのホームを踏んだ野口裕貴選手(手前右)の写真は福島民報社提供



第9回市町村対抗県軟式野球大会は9月13日から10月4日にかけて、福島市のあづま球場などで開かれました。

猪苗代町チームは1回戦で湯川村チームに7-0で快勝。2回戦では、強豪の南会津町チームを相手に3-2で劇的なサヨナラ勝ちを収め、初のベスト16入りを果たしました。

【猪苗代町チーム対戦成績】

- 1回戦○ 猪苗代町7-0湯川村
- 2回戦○ 猪苗代町3-2南会津町
- 3回戦● 猪苗代町1-8棚倉町



猪苗代町チームが共に16強入り

市町村対抗県軟式野球大会・ソフトボール大会



第2回市町村対抗県ソフトボール大会は10月17日から31日にかけて、相馬市の相馬光陽ソフトボール場で開かれました。猪苗代町チームは、1回戦で広野町チームを7-2で下し、同大会での初勝利を収めると、続く2回戦では鏡石町チームを破り、16強入りする活躍を見せました。

【猪苗代町チーム対戦成績】

- 1回戦○ 猪苗代町7-2広野町
- 2回戦○ 猪苗代町2-1鏡石町
- 3回戦● 猪苗代町1-5小野町



◀1回戦の広野町との試合で、得点したチームメイトを笑顔で迎える猪苗代町チームのメンバー

▶東北大会準優勝の快挙を成し遂げた、猪苗代スポーツ少年団ソフトボール部



9月26、27の両日、岩手県雫石町の鶯宿運動場で第14回内田清杯東北小学生男子・女子ソフトボール大会が開かれ、男子の部に出場した猪苗代スポーツ少年団が準優勝の快挙を達成しました。

10月2日、同部は町役場を訪れ、前後公町長らに報告。遠藤皓介主将は「チームの仲間たちと協力し合って、最高のプレーができた。応援ありがとうございました」と感謝を述べました。前後町長は「皆さんがチーム一丸となって頑張った結果。今後も絆を大切に学校生活を送ってください」と活躍をたたえました。



町内のスポ少がソフトで大活躍

猪苗代スポ少・猪苗代Met's スポ少が躍進



猪苗代Met'スポーツ少年団は10月25日、第14回福島民友新聞社杯会津地区新人児童ソフトボール大会でブロック優勝を果たすなど、9月から10月にかけて、数々の大会で好成績を収める活躍を見せました。

主な成績は次のとおりです。
 ▶第7回県ソフトボールスポーツ少年団新人戦会津地区予選会(9月21日) 準優勝▶第30回飯塚杯新人児童ソフトボール大会(10月17日) 飯塚ブロック優勝▶第14回福島民友新聞社杯会津地区新人児童ソフトボール大会(10月25日) Aブロック優勝



◀福島民友新聞社杯会津地区新人大会でブロック優勝し、記念撮影する団員



1_15 区阿部凜選手(東中2年) 2_7区青木剛選手(猪苗代中3年) 3_1区古川陽向選手(葵高1年) 4_4区長谷川尚大選手(帝京大1年)から5区吉田勇大選手(学法石川高1年)にリレー 5_2区國分伊三郎選手(葵高2年) 6_アンカーを務めた小川広選手 7_閉会式終了後、全員で記念撮影 8_14区小檜山利輝選手

(会津学鳳高1年) 9_8区青木稜芽選手(猪苗代中3年) 10_12区影山裕選手 11_9区小林楓羽選手(猪苗代中2年) 12_3区高久佳佑選手(猪苗代中3年) 13_10区五十嵐修一選手(明治学院大2年) 14_13区古川裕隆選手(会津学鳳高2年) 15_11区鈴木真奈選手(猪苗代中3年) 16_6区半澤拓見選手

全力でつないだタスキ

第27回ふくしま駅伝

第27回市町村対抗県縦断駅伝競争大会(ふくしま駅伝)は11月15日、しらかわカタールススポーツパークから県庁までの16区間、95・1キロのコースで開かれました。

県内53チーム、848人が参加。レースでは、本町チームが序盤でライバルの三春町会津美里町などに遅れをとりながらも、全ての選手が粘り強い走りを見せ、着実に順位を上げてフィニッシュ。町の部で3位入賞、総合で12位に入る健闘を見せました。

個人成績では、第12区を走った影山裕主将が、自身初の町の部区間賞を獲得。7区の青木剛選手と13区の古川裕隆選手は区間賞まであと一歩の町の部2位、5区の吉田勇大選手と8区の青木稜芽選手は全体で区間10位以内に入る快走を見せました。

本町チームは、今大会を含め、町の部で第15回大会から13年連続の入賞(10位以内)。第21回大会からは5位以内をマークし、昨年の大会では、町の部初優勝を果たすなど、常に優勝争いに加わる活躍を見せています。



渡部敏弘 監督

「苦しい展開の中、選手たちが頑張ってくれた」

苦しいレース展開ながら、選手たちが自分の持てる力を発揮してくれました。三春、会津美里と、力があるチームに続く3位入賞は、価値のあるものです。来年は、いきっかけをつかんで、優勝につなげたいですね。



影山 裕 主将

「思い通りの走りができた。来年は優勝したい」

ふくしま駅伝の参加は17回目ですが、区間賞を取ったのは初めてなのでうれしいです。体調も良く、思い通りの走りができました。チームとしては、課題が見えてきたので、それを克服して来年は優勝したいと思います。